

# 平成30年度 狭山市立山王小学校 学校関係者評価表

評価項目	No	質問項目	自己評価	学校関係者評価 (学校評議員による評価)	
			説明・改善の方策	評価	学校関係者の説明等
組織運営・教育課程・教職員	1	学校は、学校教育目標を学年・学級経営に具体化し、計画・実施・評価・行動のサイクルのもと、教育活動を展開をしている。	・年を重ねるごとに着実に積み重なってきている。	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標達成のための、学校経営方針についての共通理解が図られていると感じる。組織的に取り組んでいる様子に感動した。</li> <li>・子供にも教育目標が浸透している。</li> <li>・学校日より等目標や考えを周知して努力している。近所の評判がよく安定している。</li> <li>・掲示されているものが見やすくわかりやすい。</li> </ul>
			本年 A		
	2	学校は、日課表、週行事、学校行事等を適切に行うとともに、授業時数確保に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄がなく、時間的にも気持ち的にもゆとりをもって計画・実施されるように努力していく。</li> <li>・行事等を見直し、検討していく。</li> </ul>	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりある教育課程が子どもたちの成長と教員の心のゆとりにつながり、充実した学校教育につながると思う。</li> <li>・授業、行事に関しては、時間が厳しい中で確実にこなしている。日課表はこれから更に難しくなるので、完全実施に向け、より工夫が必要になる。</li> <li>・給食前に移動教室があると準備に慌ただしさがでてしまう。</li> </ul>
			本年 A		
	3	学校は、「美化活動・言語・掲示教育・安全指導・遊具点検」などを通して児童の豊かな環境作りに取り組んでいる。	・各学年の掲示板や、音楽室、図書館、職員室前等特別教室前にも行事や季節に応じた掲示がされていて、子供たちが足を止めて楽しそうに見ている様子が見える。	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの成長の様子がわかり、また学習に役立つ掲示物が子どもたちを育てる環境になっていると思う。</li> <li>・新聞を読めるコーナーが重要。言語と視覚の工夫が良い。</li> </ul>
			本年 A		
4	教職員は互いに連携と協力に努め、共通理解・共通行動をするとともに各々が主体性をもって行動している。	・クラスの授業以外で起きたことなど、職員間で気軽に子供について共有できる雰囲気づくりができた。共通理解・共通行動につながっている。	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人間性及び協働体制を感じる。</li> <li>・個々の子供たちのことが先生方の中で共有されている。</li> <li>・教職員の努力はたいへんなものです。皆、理解していると思う。</li> <li>・先生方の雰囲気が良いと思う。</li> <li>・厳しい状況の中にもスキルをあげながら協力しあい取り組んでいるように見える。</li> </ul>	
		本年 A			
5	教職員は、課題研修、現職研修に積極的に取り組み、学校課題の解決と指導力の向上を図っている。	・道徳の「自己肯定感」を高める研究を中心に研修が進められた。	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の全面実施に向けて、組織的に準備されている様子を感じる。</li> <li>・来年度に向けプログラミング等、注目されるものが変わってくるので更に頑張っていたきたい。</li> <li>・研修も計画的に行われており指導力向上に努めている。</li> </ul>	
		本年 A			
6	学校は、教職員にとって働きがいのある職場になっている。	・話しやすい職員室の雰囲気、働きやすい環境づくりに心がけている。	昨年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育愛に満ちた、一校一家の雰囲気を感じている。</li> <li>・外部の評価がある程度理解されているので働き甲斐があるのでは。</li> <li>・先生同士の関係や学校の雰囲気は良いように感じる。子供たちの雰囲気にもつながっている。</li> <li>・先生方はとても忙しいので、上手に休みを取っていただく環境にしていたきたい。</li> </ul>	
		本年 A			

確かな学力の育成	7	教職員は、児童一人一人の実態を踏まえ授業の工夫改善に努め、基礎的・基本的内容の定着を図っている。	・確実に定着させられるように進めているが、見切れない部分も出ている。特に、特別支援的な配慮を要する児童や家庭の協力が得にくい児童への細やかな対応ができないのがもどかしい。	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の定着を目指し、児童一人一人の実態あった学習指導が展開されている。</li> <li>・見切れない部分、配慮が必要な児童等への対応については学校だけでは対応するのは難しいと思うので、例えば、通級のようなシステムのを学校外で設けていけるよう体制に働きかけていく必要がある。</li> <li>・個別配慮する子も多く対応も手数が必要な時代、関わり方に難しさを痛感する。</li> </ul>
			本年 B		
	8	教職員は、児童の実態に応じた指導法改善に努め、児童一人一人の学力を伸ばしている。	・高学年でTT指導、少人数指導等を実施し、個に応じた指導を充実させる。また課題別、習熟度別等、単元に応じたグループ分けをし、体験的な学習活動を取り入れながら少人数指導の効果を高める。	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に合った指導が展開されている。</li> <li>・授業の工夫は、学校公開の環境や内容で訴えていくことも重要。</li> <li>・学力向上については、家庭の協力は絶対かと思う。協力と呼びかけを続けてほしい。</li> </ul>
			本年 B		
9	教職員は、「めあて」・「まとめ」等のカードを使い、目標を明確にし、「児童の言葉」でまとめをする授業を行っている。	・低、中、高で、発達段階がちがうので、まとめかたについて、細分化する必要がある。	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあて、まとめ等のカードは、目標等を明確にする上で大切なものであると考える。今後も①めあて(明確な)②活動(活発な)③確認(評価)④まとめ(自分の言葉でまとめる)できる範囲で心がけたい。</li> <li>・問題解決過程のカードは課題とか仮説とかは授業に+の影響が出るので状況に応じてやってほしい。</li> </ul>	
		本年 B			
10	児童は家庭での学習が習慣化し、自分から進んで学習しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート「うちの子は、学年相応の家庭学習をしている。」では、A・B評価で74%であった。</li> <li>・学習ができる環境づくり、学習後の見届けをする。(させっぱなし、やりっぱなしをしない。)→保護者へのお願い、学校側(教員)も同様さらに、家庭と連携し、継続した声掛けが必要である。</li> </ul>	昨年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習については、中学校でも課題となっている。日頃から子ども・保護者との信頼関係の構築が必要であると思う。学習面だけでなく生活面や他の面でも、時間で褒め、部分的に褒め、家庭と連携しチームでの肯定的な声かけが必要であると思う。学習については、小中の連携も深めることができればと思う。</li> <li>・家庭での対応が子供への習慣化を促す取り組みや工夫をしていくことも求められるが、保護者向けにも子供への対応の仕方や保護者同士が話合える場も設けられると良いと思う。</li> <li>・家庭での学習は、親・家庭の協力が必要であり、保護者の仕事である。学校からの声かけは続けていただくとともに保護者への意識向上の働きかけも力を入れてほしい。</li> </ul>	
		本年 B			

豊かな人間性の育成	11	児童は、明るいあいさつや返事ができ、やさしい言葉が使えている。「くん・さん」の徹底ができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「うちの子は、気持ちのいいあいさつができています。」の肯定的評価は83%だった。</li> <li>明るいあいさつと、元気な返事ができる児童を、さらに推進していく。</li> </ul>	昨年 B 本年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつについては、一番身近にいる大人（教師）が見本と感じている。大人からあいさつをして気持ちよく清々しい気分になることを伝えたい。あいさつを自分のエネルギーに変えることを伝えたい。</li> <li>下校時の住宅街は、元気によく声が聞こえるが、朝はそれほどでもない。「くん」「さん」の部分は、親しい間ではどうしてもあだ名が出てしまうと思う。授業中や清掃中などは「くん」「さん」休み時間はあだ名でも良いというようなメリハリをつけてはどうか。</li> </ul>
	12	教職員は、児童の実態を把握し、いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめをなくしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童のSOSや悩みには耳を傾け、早期解決に努めている。毎学期、生活アンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めた。</li> </ul>	昨年 A 本年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も早期発見早期対応早期解決に心がけていきたいと思う。</li> <li>先生は、児童の話を良く聞き対応ができています。子供達の雰囲気も良いように感じる。</li> <li>児童の様子を見ていただき普段と違う際には声かけをしていただきたい。</li> </ul>
	13	教職員は、道徳の時間を確保し、授業の工夫改善を進め、豊かな心を育てている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校課題研究として取り組み教材研究の時間を確保し対応できた。ソーシャルスキルや道徳を実践し、コミュニケーションスキルのアップにも取り組んでいる。成果と課題を明確にして、来年度も取り組んでいく。</li> </ul>	昨年 B 本年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校研究から道徳の授業の質的改善を目指し、組織的に取り組んでいる様子がよくわかる。</li> <li>小学校の道徳の授業はすばらしい。</li> <li>時間の確保が難しいと思われるが、先生方複数で教材研究が進められると工夫された授業ができる。</li> <li>クラス単位だけでなく学年全体や学年の壁をとった大きな道徳の時間を作ってもよいかと思う。</li> </ul>
	14	児童は時間を守り、学習の約束を守り、規律ある生活をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>おおむね授業の開始終了時間は守れている。</li> <li>小中連携による無言清掃の実施と授業の終始の礼を統一している。</li> </ul>	昨年 B 本年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実した授業を展開するためにも、時を守り、場を清め、礼を尽くす指導は大切であると感じる。</li> <li>運動場の端で遊んでいて4階に帰るのに3・4分ぐらいかかる。見えていても近くないのが山王小のグラウンドです。その中でもよくできています。</li> </ul>

安全健康・体力の向上	15	教職員は、力の落ちている項目の運動を準備運動に取り入れ、運動量の確保に努めたり、体育授業の充実を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度からの校内研修での取り組みが、徐々に職員に浸透してきている。</li> <li>体力向上の取り組みとしてバトンロー設置と、月・水・金に朝マラソンを行っている。</li> <li>体力テストの結果を受け、著しく落ち込んでいる項目の体力向上を図る手立てを検討していきたい。</li> </ul>	昨年 A 本年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力については中学校でも課題となっている。学校の実態に応じた取組が必要であると感じる。</li> <li>小学校の準備運動をしっかりとやる必要がある。ストレッチはダメ。ラジオ体操とかをしっかりとできるようにしてほしい。</li> <li>体力向上を図る時に体育授業だけでなく休み時間等にも運動を取り入れた遊びを子供たちに促すなどできるとさらに充実したものになる。</li> </ul>
	16	教職員は、交通安全指導、不審者対応指導を徹底し、事故を未然に防いでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域等から上がってくる情報を、教職員で共有し、児童への指導に生かしている。</li> </ul>	昨年 B 本年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>校長先生・教頭先生をはじめ、登下校指導をよくやっていると感じている。</li> <li>学区が広いので交通安全指導は、しっかりとやってほしい。</li> <li>下校時に道に広がり車が近づいてきてもあまり気にしない様があり心配になることがあった。指導、対応が求められる。</li> </ul>
	17	教職員は、清掃指導、掃除の見届けをし、児童の心を磨かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃時間中、話し声も聞こえるが、職員は積極的に校内の見回り、全職員で清掃指導をおこなっている。無言清掃を徹底していきたい。</li> </ul>	昨年 B 本年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>させられる清掃から自分から進んでやる清掃へつなげることができればと感じている。小中の連携で中学校でも取り組んでいる。</li> <li>学校が広いので、そうじは大変だと思う。</li> <li>清掃をする意味を伝えたり、考えさせたりすると取り組む姿勢も変わってくると思う。</li> <li>清掃以外にも、机の中や身の回りの整理整頓も意識させてほしい。</li> </ul>
	18	保護者・学校は、規則正しい生活と児童の健康管理を支援し、バランスのよい心身の発達をめざしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校での指導・支援を継続していく。</li> </ul>	昨年 B 本年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との連携を密にし、継続した支援が必要であると感じる。</li> <li>学校と家庭の連携を強めていきたい。(特に家庭、保護者の意識UPは必要)</li> </ul>

家庭地域との連携	19	学校は、学校公開、学校評議員会議や諸行事の公開、学校関係者評価の実施などを通して開かれた学校づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「学校は、保護者、地域と連絡を取り合い、共に児童の教育活動を推進している」AB評価96%</li> </ul>	昨年 A 本年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりやHP等を通じて、学校情報をよく発信していると感じている。また、保護者や地域との連絡が密に行われているため色々な行事に多く参加しているように思う。</li> <li>保護者の参加率が少なく感じる。働きかけが必要かもしれない。</li> </ul>
	20	学校は、学校応援団などにより、地域の人材、ボランティアの協力のもと、連携して地域に根ざした教育活動を展開している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後山王小っ子をはじめ、SSVC・図書ボランティア・緑化ボランティア・学習支援ボランティア・登下校の見守り隊の方々と連携し、地域、保護者の多くの方々に見守っていただいた。</li> </ul>	昨年 B 本年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアとの連携がよくとれていると感じる。特に学習面でのボランティアは大変有り難く貴重であると思う。</li> <li>学校の成果がでていると思う。</li> <li>協力的な関係が維持できるよう学校とボランティア等とのコミュニケーションを今後も大切にする必要がある。</li> <li>行事などを通して地域の方々にもっと開かれた形で学校をアピールしてもよいかと思う。</li> </ul>
	21	学校は、幼保中との連携を積極的に進め、小1対応問題・中1ギャップの克服などに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼保小連携会議の際に上がってくる情報がたいへん参考になっている。</li> </ul>	昨年 B 本年 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中の連携は、学習面を中心に更に深めていきたいと思う。</li> <li>幼、保、小、中で正しい鉛筆の持ち方を指導したい。</li> <li>幼保小中の連携を図り、子供たちを一連の流れで見守り育てていく体制を整えていく必要がある。</li> </ul>
	22	学校は、学校・学年だより、連絡帳、電話等とおして保護者・地域と連絡を取り合い、ともに児童の教育を推進している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりでは、特別号を発行し時季に応じた校務分掌だよりを発行することができた。</li> </ul>	昨年 A 本年 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりや保護者会・学校行事を通して、保護者や地域との連絡を密にし、組織的に教育活動を推進していると感じる。</li> <li>様々な方面からの話や要望等よく聞いており対応もできている。無理難題の要望に対しては一人の先生で対応するのではなく組織として対応していただきたい。</li> </ul>